**ＮＰＯ法人 保育：子育てアドバイザー協会**

**◆2024年度講習会のご案内◆**

**子どもの輝く瞳でいっぱいの社会へ**

**―育児不安、養育不全、児童虐待を未然に防ぐために―**

昨今の子育てをとりまく状況は、ますます混迷の度を強めています。とくに育児を協同で行うという機運の高まりは、従来の母親中心の子育てという常識を大きく変えつつあります。そういう中にあって、保育:子育てアドバイザー研修開催事業及び講習会開催事業を行うことは本協会の重要な社会的使命であり、２０２４年度も今日の子育ての問題について一流の講師陣による質の高い講習会を提供させていただきますので、どうか皆様ふるってご参加ください。

**2024年３月　　理事長　根ヶ山　光一**

**春期講習会（会場とZoomによる遠隔講義を併用するハイフレックス型講義）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日　程** | 講　　　師 | 講 習 要 旨 |
| ５月25日（土）  12:00～14:00 | 筑波大学名誉教授  **宮本 信也 先生**  **科目Ⅳ** | **親と子の愛着とその問題**  子どもは、不安や恐怖を感じたとき、この人のところに行けば大丈夫だと日頃から思っている人のところに近づこうとしたり、そのような人を呼び寄せようとしたりします。このような特定の人との距離を縮めようとする子どもの気持ちの動きのことを愛着といいます。本講義では、愛着形成、愛着形成に影響を与える要因、子どもの心に与える影響などについて解説します。 |
| ５月25日（土）  14:15～16:15 | 愛知淑徳大学教授  **佐藤 朝美 先生**  **科目Ⅶ** | **保育とＩＣＴ**  2023年にOECDが公表した「幼児教育・保育白書第7部（Starting StrongVII）」では、保育実践におけるICTの捉え方を紹介しています。  「使用しない」というアプローチから、「どのように関わるか」という視点へのシフトが見られます。  本講義では、デジタル時代における保育のあり方についての重要なポイントを紹介し、具体的な実践例も提供します。 |
| ５月26日（日）  9:45～11:45 | 早稲田大学教授  **小塩 真司 先生**  **科目Ⅱ** | **非認知能力を理解する**  **―望ましい心理特性の整理―**  近年、非認知能力という概念が注目を集めている。この中には多くの心理的な特徴が含まれるが、広い範囲の概念を含むことからつかみ所の分からない枠組みともなっている。本講義では、非認知能力の基本から中に含まれる概念の整理、また非認知能力の枠組みを考えるポイントについて概説する。 |
| ５月26日（日）  12:45～14:45 | 保育の安全研究・教育センター  日本子ども学会常任理事  **所 真里子 先生**  **科目Ⅲ** | **子どもの命を奪う事故、ケガとその予防策**  **―保育者のための「ハザード教室」―**  日本では不慮の事故で多くの子が亡くなっていますが、保育のなかで目にするヒヤリハットと命を奪う事故は同じではありません。  安全のため「あれもダメ、これもダメ」の環境で子どもは育つことができるのでしょうか。  予防すべき子どもの事故とケガを理解し、モノや環境の整備に取り組み、見守りだけに頼らない予防策を学びましょう。 |
| ５月26日（日）  15:00～17:00 | 東京大学教授  **針生 悦子 先生**  **科目Ⅱ** | **子どものことばが育つとき**  ことばを身につけるために子どもは当然ことばを聞く必要があるわけですが、この”聞く”がそれほど単純でないことは、赤ちゃんはビデオからはことばを学ばないこと、バイリンガル環境で育てても両方の言語が身につくとは限らないことなどからもわかります。本講では、子どものことばを育てる環境の役割について改めて考えてみたいと思います。 |

**夏期講習会****（会場とZoomによる遠隔講義を併用するハイフレックス型講義）**

\*井上美智子先生の講習は、Zoomによる遠隔講義を会場とZoomのオンラインで受講するサテライト方式となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日　程** | 講　　　師 | 講 習 要 旨 |
| ７月27日（土）  12:00～14:00 | 大阪大谷大学特任教授  **井上 美智子 先生**  **科目Ⅶ** | **幼児期からの環境教育**  地球温暖化による気候変動、有限な資源をめぐる紛争、環境難民の増加、生態系の崩壊など、現在自然科学が予測する人類の未来は明るいものではありません。今の子どもたちは「持続可能な社会」を創るというとても難しい課題にリアルタイムで向かっていかねばなりません。そのために、保育に何ができるのか考えます。 |
| ７月27日（土）  14:15～16:15 | 慶應義塾大学名誉教授  日本子ども学会副理事長  **安藤 寿康 先生**  **科目Ⅱ** | **遺伝と環境からの子ども理解**  **―進化教育学：平等公平な教育を乗り越えて―**  学業・スポーツ・芸術・ビジネス等、あらゆる能力の個人差には50％ほど遺伝の影響があります。機会の公平と自己責任だけでは社会的平等を保証できません。教育界でほとんど議論されないこの「不都合な真実」を前に、われわれは「平等公平」をどう考えればよいのでしょうか。どんな教育を目指すべきなのでしょうか。 |
| ７月28日（日）  9:45～11:45 | 元こども教育宝仙大学教授  **池田 祥子 先生**  **科目Ⅴ** | **「こども誰でも通園制度」の内容を考える**  **―保育所制度の歴史から―**  岸田文雄首相による「異次元の少子化対策」提唱のさなか、「こども誰でも通園制度！」が打ち出されてきた。これまでの「待機児童対策」が、逆に０、１、２歳児の定員割れという事態を引き起こしている現状への対応とのことである。  現在のところ、家庭の母親たちの歓迎の声は聞こえるが、保育界での反応はいま一つ明確には聞こえてこない。保育士たちの待遇改善が急務であるのは変わらないが、そもそも「保育」とは何だったのか？　「誰でも通園！」って、なぜ「画期的」なのか……歴史を遡りながら、「幼・保」の根本的な混乱の源から、現在を考えてみよう。 |
| ７月28日（日）  12:45～14:45 | 帝京科学大学教授  **島田 将喜 先生**  **科目Ⅴ** | **野生霊長類の遊びと子育て**  ヒトの子育ては、他の動物種のそれと同様、進化的に獲得された特徴を多く残しています。ヒトに近縁なニホンザルやチンパンジーの母親は我が子の子育ての多くを担いますが、オスも子どもたちにとって寛容な遊び相手となります。野生霊長類の遊びと子育てとの比較を通じて、私たちの子育てについての理解を深めることが講義の目的です。 |
| ７月28日（日）  15:00～17:00 | ＩＰＵ・環太平洋大学教授  お茶の水女子大学名誉教授  十文字学園女子大学名誉教授  ２０２１年度文化功労者  ２０２３年秋瑞宝重光章受章  **内田 伸子 先生**  **科目Ⅰ** | **子どもは変わる・大人も変わる**  **―乳幼児虐待からの再生;青年期は第二の誕生期―**  保育：子育てアドバイザー協会の初代理事長藤永保先生をプロジェクトリーダーに、発達心理学者たちが精魂込めて取り組んだふたりのきょうだいの40年に及ぶ補償教育の全貌をお話しします。 言語発達や認知発達の遅れはどのように克服されたのか、青年期での著しい成長を支えたものは何か。虐待された子どもが発達遅滞から回復する鍵は身近な大人との愛着の成立の可否にかかっていること、青年期の著しい成長を支えたものは仲間や保育者、教師たちとの出会いと暖かな交流を通して本人の自由意思の力によるものであることを、最新の脳科学と発達心理学の知見を踏まえて、人間発達の可塑性の謎を解き明かしたいと思います。 |

**秋期講習会（会場とZoomによる遠隔講義を併用するハイフレックス型講義）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日　程** | 講　　　師 | 講 習 要 旨 |
| 11月16日（土）  12:00～14:00 | 白百合女子大学名誉教授  東京外国語大学名誉教授  生涯発達支援研究所代表理事  **田島 信元 先生**  **科目Ⅶ** | **生涯発達支援の観点から**  **読み聞かせ活動実践のあり方を考える**  保育、子育ての核心は相互の発達支援であり、大人と子どものやりとりを通して、ともに育ち合うという相互的な「越境的交流（相手の領域に入り込み、新しい知見を共有し合うやりとり）」が成立して初めて成り立つものである。本講は、その観点から、「保育、子育て＝自分育て」を実践的に行う上で最も効果を挙げてきた「読み聞かせ活動」のあり方を、ロールプレイングの場で体験しながら考えることを通して、世代間交流の意義、生涯発達支援としての貢献について学んでいくと同時に、家庭や保育施設での実践のあり方について提言したい。 |
| 11月16日（土）  14:15～16:15 | 白百合女子大学教授  お茶の水女子大学名誉教授  日本子ども学会常任理事  **菅原 ますみ 先生**  **科目Ⅱ** | **小児期体験の長期的影響性**  **―幼児期の今を楽しく充実して過ごすことの大切さ―**  近年の予防医学的な研究から、貧困や虐待、いじめなどの逆境的な小児期体験（Adverse Childhood Experiences: ACEs ） が成人期以降での心身の健康に影響を及ぼすことが明らかにされてきています。一方発達心理学の領域では、逆境体験のネガティブな影響を緩和する小児期の保護的・補償的体験（ Protective and Compensatory Experiences: PACEs ）に関する研究も進み、回復に関するレジリエンス研究が発展しつつあります。本講義では、 ACEsの悪影響から子どもを守るPACEsに関する国内外の研究について紹介するとともに、トラウマからの回復支援や、レジリエンスの中核となる養育者と子どもとの関係形成を支援するプログラムについて紹介し、幼少期での健康的でポジティブな体験の重要性について考えていきます。 |
| 11月16日（土）  16:30～18:00 | **交流会** | **参加費無料** |
| 11月17日（日）  9:45～11:45 | 早稲田大学名誉教授  日本乳幼児医学･心理学会理事長  **根ヶ山 光一 先生**  **科目Ⅵ** | **地域に開かれた子ども**  **―母子の隔たりと文化―**  親子はいつも親密ではいられず、たえず近づきと遠ざかりをダイナミックにバランスさせて関係を調整しています。それは親と子のコミュニケーション力を養い、それを周囲のヒトとモノによるアロマザリング（母親以外が子育てに関与すること）の環境が可能にしてくれます。こういったヒトの子育ての本質を、ヒトと動物の子育ての比較や日英、都市部と離島の比較**を**ふまえて、おとなと子どもの主体性の文化差の観点から考察します。 |
| 11月17日（日）  12:45～14:45 | 大正大学教授  **長谷川 智子 先生**  **科目Ⅰ** | **食と生活リズム**  現代社会では、子どものいる家族の生活が多様化しています。人間の命を支える根幹である食は健康、栄養から注目されることがほとんどですが、家庭での生活リズムの影響、食産業の影響を大きく受けています。本講義では、はじめに幼い子どものいる家庭の食がどのように営まれているか、食産業などとの関連においてその実態をとらえます。次に、幼児の食が1日と生活リズムとの関連について見ていきます。最後に、このような実態を踏まえて、食と生活リズムに問題が生じている場合どのような支援が有効か考えていきます。 |
| 11月17日（日）  15:00～17:00 | 理化学研究所理事  立命館大学OIC総合研究機構招聘研究教授  北海道大学名誉教授  **仲　真紀子 先生**  **科目Ⅰ** | **子どもから「何があったか」を聞く技術**  **―司法面接の方法を参考に―**  事件､事故､いじめ､校則違反など、「何があったか」を子どもに話してもらわなければならない場面は少なくありません。ここでは認知心理学、発達心理学の知見を踏まえた、事実確認のための面接法(司法面接)をご紹介します。司法面接で用いられるオープン質問は、親子の日常会話を豊かにするためにも活かすことができます。簡単な演習も行います。 |

**☆科目について**

＊講座は、下記の７科目です。

　科目Ⅰ　気になる子どもたち　　　科目Ⅱ　発達・教育からの子ども理解

　科目Ⅲ　子どもの安全と健康　　　科目Ⅳ　発達障がいと心理臨床

　科目Ⅴ　家族・保育者による子育ち支援　　　科目Ⅵ　日本の子育てと文化　　　科目Ⅶ　他領域連携科目（ＩＣＴ、環境学習など）

**☆資格取得について**

＊春期・夏期・秋期講習会のうち、５講座を受講することで、初級アドバイザー資格が取得できます。

＊春期・夏期・秋期講習会のうち、１０講座を受講し、課題レポート審査に合格することで、中級アドバイザー資格が取得できます。

＊上級アドバイザー資格は、春期・夏期・秋期のすべての講習会を受講し、初級・中級アドバイザー資格を取得して、指定図書によるレポート審査に合格することで取得できます。なお、上級資格所有者が新たに受講する場合、受講料が割安となります。

＊１講座のみの受講もできます。

**☆開催日：春期講習会　５月２５日(土)、５月２６日(日)**

**夏期講習会　７月２７日(土****)、７月２８日(日)**

**秋期講習会　１１月１６日(土)、１１月１７日(日)**

**☆会　場：早稲田大学早稲田キャンパス**

**☆時　間：第１日目****12時00分～16時15分（11時40分開場）**

**第２日目　 ９時45分～17時（9時25分開場）**

**交流会 16時30分～18時（秋期のみ）**

**☆受講料（資料代含む）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **年間一括振込割引** | **５講座受講** | **１講座受講** |
| **一般** | **５４，０００円** | **２０，０００円** | **４，０００円** |
| **会員・学生・上級資格者** | **５１，０００円** | **１８，０００円** | **３，６００円** |

＊交流会参加費は無料です。

**☆振込先**

ゆうちょ銀行　記号１０１１０　番号８１５４０５５１

名義　特定非営利活動法人保育・子育てアドバイザー協会

また、全銀システムによる他金融機関からの振込をご利用になる場合は、下記の内容をご指定ください。

店名　 　　〇一八（読み　ゼロイチハチ）

店番　 　　０１８ 預金種目　　普通預金

口座番号 ８１５４０５５

＊受講料は受講申し込み後速やかに(受講される３日前までに)お振り込みください。

＊欠席の場合は受講料の返金は行いませんが、次年度に限り欠席回数分の受講ができます。

＊新型コロナウイルスの感染再拡大などによる延期・中止の場合は、返金のご希望があれば返金いたします。

＊社会事情等により、日程を変更することがあります。参加の方は必ず本NPO法人のホームページをご確認ください。

＊宿泊、昼食などの斡旋は行いません。

|  |
| --- |
| **お問い合わせ・お申し込みはＦＡＸまたはEメール、**  **または下記当協会ホームページの申込フォームでお願いします** |

〒１７７－００４１　東京都練馬区石神井町６－１７－３７　ルフォン石神井公園２０１

ＮＰＯ法人保育：子育てアドバイザー協会事務局（担当：岡﨑）

ＦＡＸ番号：０３－３９９５－５１８１　　メールアドレス：[hoikukosodate-jimukyoku@mbr.nifty.com](mailto:hoikukosodate-jimukyoku@mbr.nifty.com)

ホームページ：https://www.hoikukosodate-adviser.com

**NPO法人 保育：子育てアドバイザー協会「2024年度講習会」申込書**

２０２４年　　　月　　　日

**●申し込みおよび問い合わせ先**

（FAXまたはEメール、または当協会ホームページの申込フォームでお願いします）

**〒１７７－００４１　東京都練馬区石神井町６－１７－３７　ルフォン石神井公園２０１**

**NPO法人保育：子育てアドバイザー協会事務局　担当／岡﨑**

**FAX：０３－３９９５－５１８１ Ｅ-Mail：**[**hoikukosodate-jimukyoku@mbr.nifty.com**](mailto:hoikukosodate-jimukyoku@mbr.nifty.com)

[**https://www.hoikukosodate-adviser.com**](https://www.hoikukosodate-adviser.com)

**春****期講習会　ハイフレックス型講義** ●受講をご希望の講座に○をおつけください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **春期講習会** | | | **ご希望** | |
|  | 講師 | テーマ | **会場** | **Zoom** |
| ５月25日（土） | 宮本 信也 先生 | 親と子の愛着とその問題 |  |  |
| 佐藤　朝美 先生 | 保育とＩＣＴ |  |  |
| ５月26日（日） | 小塩 真司 先生 | 非認知能力を理解する |  |  |
| 所　真里子 先生 | 子どもの命を奪う事故、ケガとその予防策 |  |  |
| 針生 悦子 先生 | 子どものことばが育つとき |  |  |

**夏期講習会　ハイフレックス型講義**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **夏期講習会** | | | **ご希望** | |
|  | 講師 | テーマ | **会場** | **Zoom** |
| ７月27日（土） | 井上　美智子 先生 | 幼児期からの環境教育 |  |  |
| 安藤　寿康 先生 | 遺伝と環境からの子ども理解 |  |  |
| ７月28日（日） | 池田 祥子 先生 | 「こども誰でも通園制度」の内容を考える |  |  |
| 島田　将喜 先生 | 野生霊長類の遊びと子育て |  |  |
| 内田 伸子 先生 | 子どもは変わる・大人も変わる |  |  |

**秋期講習会　ハイフレックス型講義**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **秋期講習会** | | | **ご希望** | |
|  | 講師 | テーマ | **会場** | **Zoom** |
| 11月16日（土） | 田島　信元 先生 | 読み聞かせ活動実践のあり方を考える |  |  |
| 菅原 ますみ 先生 | 小児期体験の長期的影響性 |  |  |
| 交流会 | |  |  |
| 11月17日（日） | 根ケ山 光一 先生 | 地域に開かれた子ども |  |  |
| 長谷川　智子 先生 | 食と生活リズム |  |  |
| 仲 真紀子 先生 | 子どもから何があったかを聞く技術 |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| お名前 | フリガナ | | |
|  | | |
| 園名・ご所属 |  | | |
| ご連絡先 | 〒 | | |
|  | | |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ |  |
| Ｅメール |  | | |

**＊Ｅメールアドレスは必ずご記入ください。**

＊ご連絡先（　**自宅**　・　**勤務先**　） ※どちらかに必ず○をおつけください。